

「製造業における女子パートタイム 雇用個人調査」の結果速報

労働省婦人少年局

昭和41年7月

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は製造業の事業所に雇用される女子パートタイマーの労働条件、経歴、家庭状況等の実態および女子パートタイマーの就業に関する意識を明らかにし、女子労働力有効活用対策の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の対象

昭和40年5月に婦人少年局が実施した「パートタイム雇用調査」の対象事業所のうち、製造業に属し、30人以上の常用労働者を雇用し、女子パートタイマー5人以上を雇用する183事業所に雇用される女子パートタイマーのうち、一定の方法で抽出した約1,500人を調査対象とした。

3. 調査の時期および方法

昭和41年2月15日現在、ただし、賃金は40年12月について行なった。

面接調査

パートタイマーの定義

本調査の対象となつたパートタイマーとは、1日、1週あるいは、1カ月の所定労働時間が当該事業所の一般労働者の所定労働時間より短い労働者、すなわち、

(1) 毎日就労するものについては1日の労働時間が一般労働者

より短いもの

(ロ) 1週または1カ月の間に反覆して特定日に就労するものについては、1日の労働時間の長短を問わず、1週間または1カ月の所定労働時間が一般労働者より短いものをいう。

II. 調査結果の概要

1. 女子パートタイマーの一般的な性格

(1) 年令別構成

女子パートタイマーの年令別構成で特徴的なことは、30才以上の中高年令層が8割以上をしめている点である。

年令階級別にみると、もつとも多いのは35才～39才の27.1%、ついで40才～44才の20.9%、30才～34才の16.4%などである。また、もつとも少いのは、20才未満の0.7%である。

昭和40年賃金構造基本統計調査における製造業女子労働者の年令構成20才未満29.3%、30才以上33.1%と比較して大きな差がみられる。

産業別にみると、化学には20才未満の若年層がやや多くみられるが(11.8%)、電気機器、食料品、繊維衣服その他の繊維製品など殆んどの産業で30才～44才の年令層が高い割合をしめている。

職種別にみると、事務は比較的若い年令のものが多く(25～29才46.4%)、製造作業では中年層(30才～44才71.2%)、単純作業は事務、製作業にくらべ45才以上のしめる割合が高くなっており、とくに、清掃、雑役では50才～54才に約半数が集中している。

(2) 配偶関係

女子パートタイマーの配偶関係をみると、有夫者が圧倒

的に多く約9割（87.5%）をしめ、その他（死・離別者など）をあわせると、既婚者が92.3%にのぼり、未婚者は3%にみたない。事業所規模別にみると、未婚者が比較的多いのは、規模1000人以上の9.0%で、小規模ほど少なく、規模30人～99人では、全員既婚者となっている。

(3) 学 歴

小学、新中卒が70.5%で、高女、新高卒以上は28.9%（高女・新高卒25.7%）となっている。職種別にみると、製造作業、単純作業では約7割が、小学、新中卒であるが、事務は逆に高女、新高卒が約7割、旧高専、短大卒以上も5%みられる。

(4) 15才未満の子供の有無

既婚女子パートタイマーのうち、15才未満の子供のあるものは67.4%で、約2/3をしめている。このうち、子供数2人のものがもつとも多く47.4%、1人のものが35.4%、3人のものが15.0%、4人以上はごく少く、2.2%となっている。子供の年令別にみると、3才未満の子供をもつものは8.3%、3才以上学令前の子供をもつものは26.1%、小学生をもつもの67.9%、中学生をもつものは44.3%となっている。

(5) 兼業の有無

兼業をもっているものは、約1割（9.7%）である。

兼業の型態では内職が多く46.0%、ついで自営業33.7%、つとめ11.2%などの順となっている。

2. 女子パートタイマーの労働条件

(1) 雇 用 型 態

女子パートタイマーのうち、常時仕事があるものは87.2%、特定時期のみのものは12.6%で、大多数が通常の労働力として雇用されていることになる。また、常時仕事のある

ものを、勤続期間別にみると、もつとも多いのは1年以上の45.7%、ついで6カ月以上1年未満が24.0%、3カ月未満18.6%、3カ月以上6カ月未満10.8%である。

(2) 労働日の型

女子パートタイマーのうち週型(1週間に何日勤務という週単位で勤務している場合をさす)で働くものは72.0%であるが、そのうち6日働くもののもつとも多く80.5%、ついで5日の14.1%となっている。

つぎに、労働日が月型のものは4.1%であるが、1カ月のうち21日~25日働くもののもつとも多く54.6%、ついで16日~20日働くものが28.4%となっている。

また、労働日の型が「きまっていない」ものは23.8%となっている。

(3) 労働時間

1日の労働時間は、週型の場合、2時間未満から8時間までに分布しているが、もつとも多いのは6時間以上7時間未満の42.1%、ついで7時間以上8時間未満の21.0%、5時間以上6時間未満の18.8%などで、約8割のものが5時間以上働いていることになる。月型の場合は、週型と同様6時間以上7時間未満がもつとも多く68.0%、ついで5時間以上6時間未満の20.5%、7時間以上8時間未満の7.9%で、5時間以上働くものが96.4%をしめている。

(4) 所定外労働の有無

女子パートタイマーのうち、所定外労働が「ある」と答えているものは15.4%、「ない」と答えているものは84.6%で、約8割が所定外労働はしていない。

(5) 就労時刻

始業時刻は、午前6時から午後7時まで広範囲に分布しているがもつとも集中しているのは午前9時~10時で、全体の55.9%、ついで午前8時~9時の10.6%、午前10時

～11時の8.0%などで、約75%が午前8時から11時までには仕事についている。

終業時刻は、おなじく午前8時から午後10時まで広範囲に分布しているが、もつとも集中しているのは、午後4時～5時の38.3%、午後3時～4時の18.1%、午後5時～6時の14.1%などで、約71%が午後3時～6時の間に終業している。

配偶関係別にみると、未婚者の場合は、始業時刻が既婚者にくらべておそい時間に分布しており、終業時刻も午後3時以後で、それ以前のものはない。また製造作業における2交替制等のため、勤務の形態が2種以上になっているものや、専門職における時間勤務のものなどの割合も比較的時間の都合がつく未婚者に多い。

(6) 賃金型態

賃金型態は、時間給がもつとも多く80.1%、日給は13.4%、月給はわずか0.4%となっている。また、その他の型態（出来高払いなど）のものが6.1%ある。

賃金型態を取種別にみると、事務、製造作業、単純作業、その他の取種のいずれも時間給がもつとも多いが、そのうち事務は63.0%と比較的少なく、他はそれぞれ8割～9割をしめている。事務では、月給が他の取種にくらべて多く、30.0%となっているのがめだつ。

(7) 賃 金

時間給の賃金額別分布をみると、60円～69円が35.8%でもつとも多く、ついで70円台の24.9%、80円台の19.8%となっている。すなわち、60円から89円までに約8割が集中していることになる。

職種別にみると、事務、製造作業、単純作業、その他のうち、最も高い賃金額に分布しているのは、その他（技術者、教員、医師、看護婦、栄養士など）で、90円以上129円までに82.5%が集中している。ついで高いのが事務で80

円以上 99 円までに多く 98.9%、製造作業は 60 円以上 89 円までに 83.4%、もつとも低いのは、単純作業で 50 円以上 79 円までに 81.6%が集中している。

日給制で賃金を支払われているものの賃金額別分布をみると、200 円未満から 700 円台までに分布しているが、最も多いのは 300 円台の 38.1%、ついで 500 円台の 25.3%、400 円台の 21.1%となっている。

月給制で賃金を支払われている者は 0.4%にすぎないが、その大部分 (91%) が 16,000 円～17,999 円に集中している。

平均賃金

女子パートタイマーの平均賃金は、月収で見ると 6,648 円、時間給では 73 円となっている。

3. 職業生活

就業の理由

就業理由でもっとも多いのは「生活費のたしにする」49.9%、「生活費を得る」21.4%をあわせて7割強をしめている。その他「子供の学費」も比較的多く33.4%をしめている。また、「こづかいを得る」「買いたいものがある」「家にこもつていたくない」「内取より収入がよい」などもそれぞれ20%以上をしめている。(注、1人がいくつも答えているので合計は100%をこえる)

パートタイムで切っている理由としては「家争のためフルタイムで切けない」がもっとも多く68.9%、ついで「育児のためフルタイムで切けない」が17.1%をあわせて86%にのびている。一方、「フルタイムのつとめ口がない」と答えているものも約1割ある。

勤続の意志

「なるべく長く」いまの仕事を続けたいと希望しているものが約7割(67.1%)をしめており、1年未満の短期勤続を希望しているものは5.6%にすぎない。配偶関係別にみると、未婚者に短期勤続の希望が多く、6カ月未満23.3%、また「もっとよい収入の仕事が見つかるまで」21.9%と、あわせて約半数をしめており「なるべく長く」は40%である。有夫者の「なるべく長く」68%に比べ未婚者の安定性がうすいことがうかがえる。

就業経験

つとめの経験のあるものは約半数(50.4%)で、そのうちフルタイムでつとめていたものが約80%、パートタイムでつとめていたものは20%となっている。

フルタイムでつとめていたものの職種をみると製造作業がもっとも多く43.2%、ついで事務の25.0%、単純作業11.4

るなどの順となっている。

前職の退職理由

前職の退職理由をみると、自分の都合が85.6%をしめ、つとめ先の都合は11.4%となっている。自分の都合でもっとも多いのは「結婚」の44.1%、ついで「家事」「妊娠・出産」のそれぞれ16.2%などが多い。未婚者の場合は「家事」がもっとも多く45.0%をしめている。また、つとめ先の都合のなかでは、「人員整理・会社倒産」がもっとも多く75.0%、「定年のため」は70%となっている。

フルタイムで働く希望

フルタイムで働きたいというものは77.4%、フルタイムで働く希望のないものは22.6%となっている。配偶関係別にみると、フルタイムを希望するものは未婚者にもっとも多くその77.0%、ついでその他の30.8%、有夫者がもっとも少なく、14.1%となっている。

フルタイム希望者のうち求職活動をしたものは16.2%で、希望がありながら求職活動をしていないものが57.6%にのびている。

職業訓練受講の希望

受講を希望するものは比較的少数で約25%、受ける意志のないものは75%となっている。年齢階級別にみると、若年層ほど受講希望が高く、20才未満では91%とぎやめて高い割合をしめているが、20才～24才では大巾に減少して50%となり年齢が上昇するにしたがって少なく、45才以上では、10%にみえない。しかし、希望者のうちでも「すぐ受けられる」と答えているものは少数で、希望者の2割程度である。

職業訓練希望種目

訓練種目として希望しているものは広範囲にわたっているが、

もつとも多いのは「縫物工」29.2%、「洋裁工」14.9%、「家事サービス訓練」9.2%、「和服工」7.1%などである。

希望する労働条件

・月収

希望月収額は5,000円未満から20,000円以上まで市広く分布しているが、もつとも多いのは15,000円～19,999円の26.2%、ついで10,000円～14,999円の19.1%である。また10,000円以上を希望しているものは全体の7割ちかくをしめている。

・時間当り賃金

希望する時間当り賃金は50円台から200円以上までにわたって分布しているが、70円から109円までに全体の約8割(76.6%)が集中している。このうちもつとも高い割合をしめているのは100円～109円の38.9%、ついで80円～89円の16.1%などである。

・労働時間

希望する労働時間でもつとも多いのは1日6時間以上7時間未満の38.7%、ついで5時間以上6時間未満の19.8%、7時間以上8時間未満の13.5%となっており、比較的長時間の希望者が多い。配偶関係別にみると未婚者に7時間以上を希望するものが多く、既婚者では6時間以上7時間未満がもつとも多い。

・労働日

1週についての希望労働日数は6日を希望するものが43.6%でもつとも多く、ついで5日の24.4%となっている。未婚者の場合は6日が圧倒的に多く70%、既婚者は40%強である。

4. 家庭生活

家計の支持者

女子パートタイマーのうち主たる家計の支持者となつてゐるものは5.0%である。これを配偶関係別にみると、未婚者の場合は約6割、その他（死離別者など）では3割が、主たる家計の支持者となつてゐる。有夫者ではわずかに0.7%で、大部分（97.5%）は夫が主たる家計の支持者である。

主な家計担当者

女子パートタイマーのうち93%は家計の主な担当者となつてゐる。自分の母、または夫の母が担当者であるものは4.0%、夫は0.4%となつてゐる。配偶関係別にみると本人が主な担当者であるものは有夫者に最も多く、94.2%、その他（死離別者など）は89.1%、未婚者がもっとも低く60.4%となつてゐる。

子供の状況

15才未満の子供のゐる女子パートタイマーのうち、小学生の子供をもつ母親は、約7割にのぼつてゐる。

このうち、子供の放課後もつとめのあるものは84.4%、つとめのないものは15.6%で、大部分のものが子供の放課後も仕事をもつてゐる。母親がつとめている間の子供の状況は「家族がみる」41.8%、「近所の人にたのんでみる」13.6%、「学童保育」0.6%で約56%がなんらかの形で子供をみる条件をつくつてゐるが、「誰もめんどろをみていない」が約36%ある。

学令前の子供をもつ女子パートタイマーは同じく3割強をしめてゐるが、保育状況をみると、家族がみてゐるものがもっとも多く40.1%、保育所29.4%、幼稚園21.4%などである。学令前の幼児でも「誰もみていない」ものが0.2%ある。